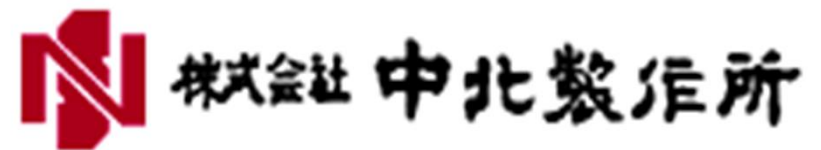




平成29年5月期第2四半期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成29年2月2日 大阪



- I . 会社概要
- II . 平成29年5月第2四半期 実績
- III . 平成29年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



I . 会社概要



1. 会社概要・沿革

■ 会社概要

会社名：株式会社中北製作所
代表者：代表取締役社長 中北 健一
所在地：大阪府大東市
設立：1937年5月
資本金：1,150百万円
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・
遠隔操作装置製造・販売
従業員数：339名(2016年11月末現在)



■ 沿革

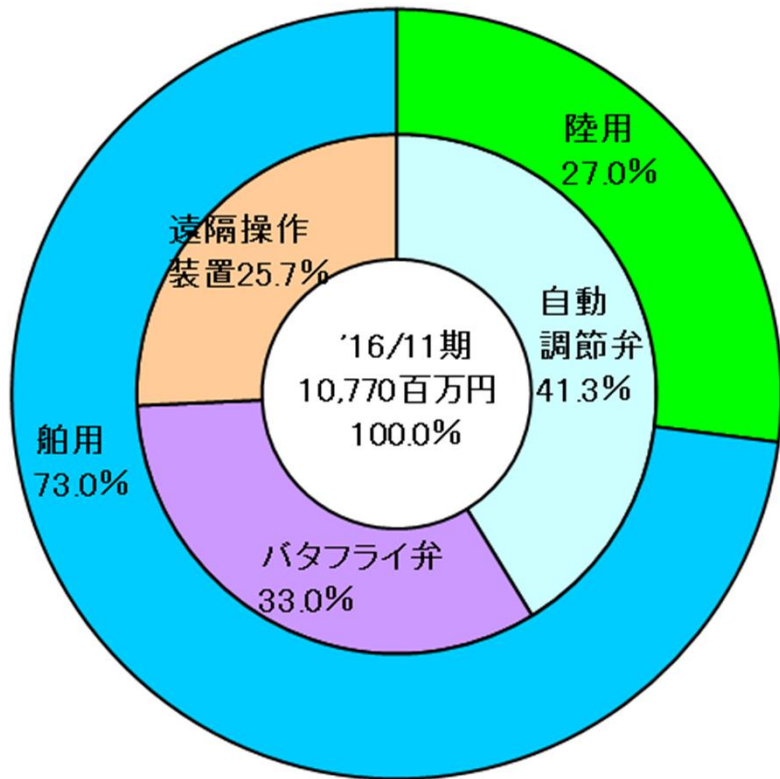
1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。



2. 事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している

- ・製品クオリティも「高圧ガス」「ASME」「CEマーク」「船級認定」など、数々の公的認定で保証されており、高い品質が保たれている。
- ・製造工程においても、品質マネジメントシステムである国際規格のISO9001認証を取得し、設計から製造に至るまでの、トータルで高度な品質管理を実現している。



品種別用途

陸船別	用 途		品 種		
			自動 調節弁	バタフ ライ弁	遠隔操 作装置
船用	カーゴライン	タンカー		○	○
	バラストライン	全船種		○	○
	機関室	全船種	○		
陸用	発電プラント	火力発電	○	○	
		原子力発電	○	○	
		ガスタービン発電	○	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	

3. 製品

船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)



中小型船舶から原油運搬用の大型タンカー、さらに環境にやさしい天然ガスを運搬するLNG船まで、船舶輸送を支えているのは中北ブランドです。

中北製作所の製品は船舶用にも多く使用されており、バラ積み船、タンカー、LNG船などの幅広い分野の船舶においてカーゴ及びバラストラインのバタフライ弁をコントロールパネルから遠隔操作し、船体姿勢制御や荷役制御のサポートをしています。また、船舶用エンジンに関わる燃料油加熱装置や主機清水冷却装置、主機潤滑油冷却装置などで、燃料油の温度を一定に制御することやエンジンの冷却水制御、エンジンに冷却した潤滑油を送り込むといった大切な役割も担っています。

【船舶を支える中北ブランド】
Ships Supported by NAKAKITA Brand

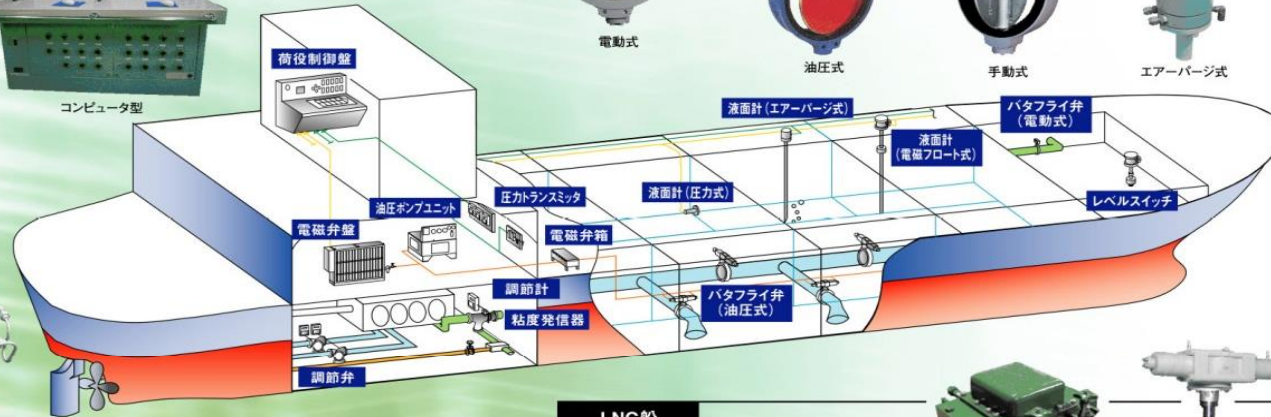
カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム



バタフライ弁



液面指示装置



LNG船

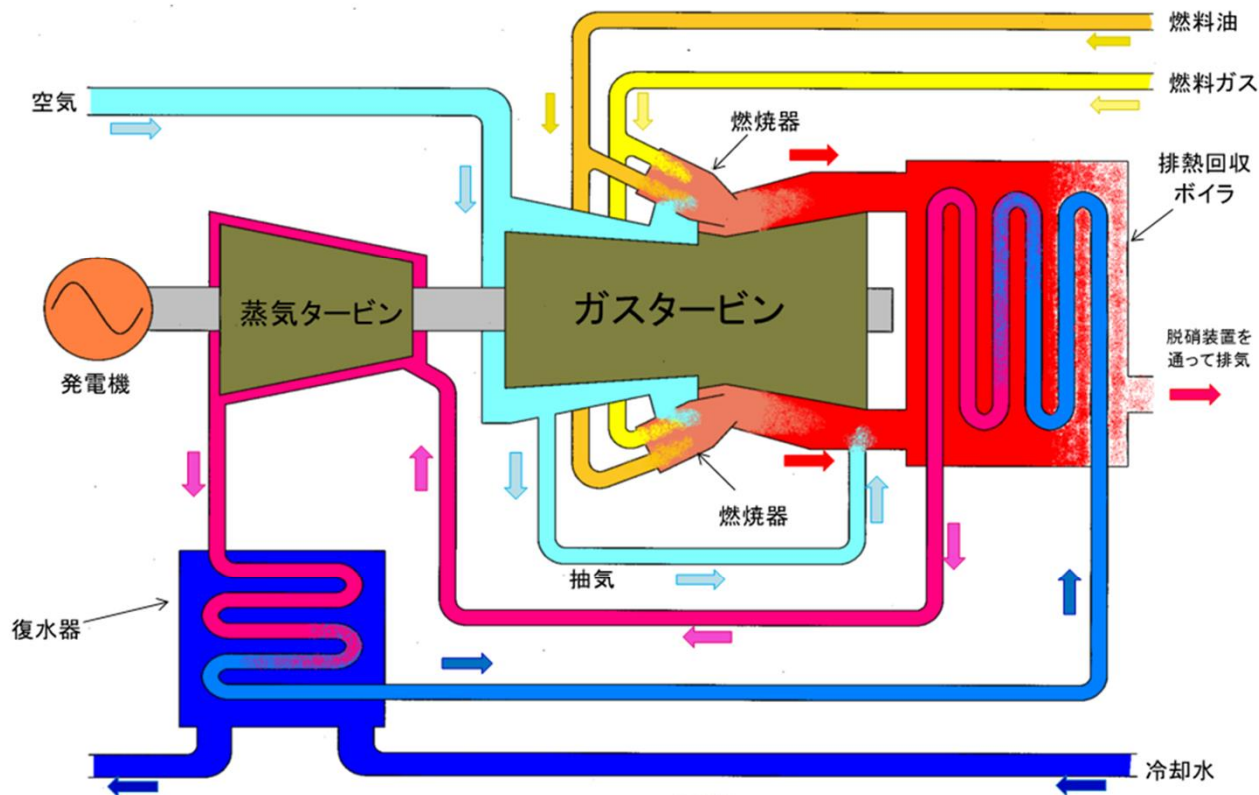


自動制御機器(機関室・ボンブルーム)





ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



燃料ガス制御弁



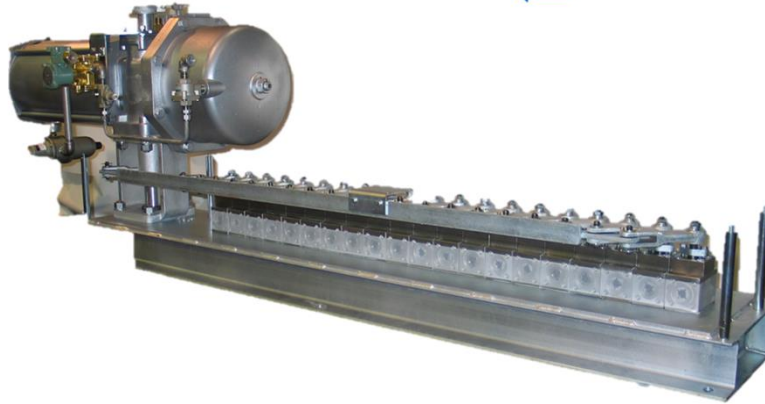
燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージェアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁

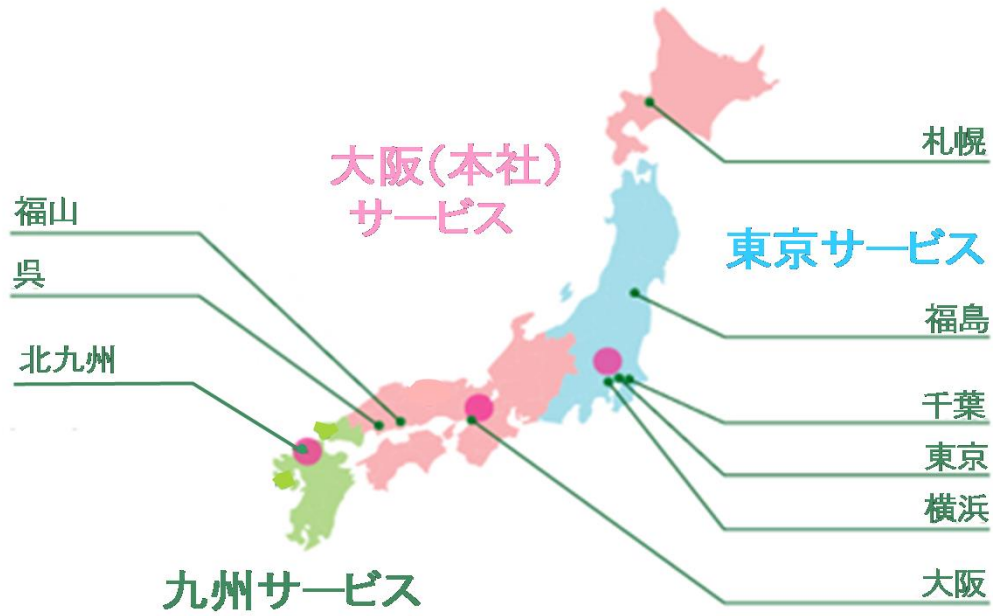


潤滑油温度制御弁

サービス網



国内サービス網



本社



海外サービス網



4.中北製作所の特徴と強み～まとめ～

- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
- 2.顧客のニーズに対応した完全受注生産
- 3.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
- 4.技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
- 5.国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 6.省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
- 7.高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに超低温・高温環境での実証試験環境の整備



Ⅱ. 平成29年5月期第2四半期 実績



1. 概要

単位:百万円、%、円

	15/11	16/11	前年同期比		16/11 期初計画	同期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	9,094	10,770	1,675	18.4	10,500	270	2.6
営業利益	509	797	288	56.6	520	277	53.4
経常利益	610	885	274	44.9	580	305	52.6
中間純利益	393	593	200	50.9	400	193	48.4
一株当たり中間純利益	20.87	32.20			21.69		
一株当たり配当金	10.00	10.00			10.00		
総資産	25,828	26,726					
純資産	19,654	20,036					

■売上高は、期初計画を若干上回った。

■利益面に関しては、一部の船種において収益が好調で、メンテナンス関連の収益も順調に推移したため、営業利益、経常利益、四半期純利益は期初計画を大きく上回った。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産高

単位: 百万円、%

	15/11	16/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,361	4,419	57	1.3
バタフライ弁	2,251	3,537	1,286	57.1
遠隔操作装置	2,317	2,754	436	18.8
生産高合計	8,930	10,711	1,780	19.9

受注高

	15/11	16/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,441	4,468	26	0.6
バタフライ弁	3,294	2,287	▲1,007	▲30.6
遠隔操作装置	2,780	2,511	▲268	▲9.7
受注高合計	10,516	9,266	▲1,249	▲11.9

受注残

	15/11	16/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,128	4,876	747	18.1
バタフライ弁	4,796	5,345	548	11.4
遠隔操作装置	4,346	4,544	198	4.6
受注残合計	13,271	14,766	1,495	11.3

■生産高(前年同期比19.9%の増)

生産高は、バタフライ弁が前年同期比57.1%と大幅に増加し、遠隔操作装置も同18.8%増加したことにより、全体では同19.9%の増加となった。

■受注高(同11.9%の減)

新造船マーケットの冷え込みに伴い、バタフライ弁が前年同期比30.6%、遠隔操作装置が同9.7%減少し、全体では同11.9%の減少となった。

■受注残(同11.3%の増)

受注残高は、前年同期比11.3%の増加となった。



3.部門別売上高

単位：百万円、%

	15/11	16/11	16/11		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	4,441	4,444	2	0.0	41.3
バタフライ弁	2,292	3,557	1,264	55.2	33.0
遠隔操作装置	2,360	2,769	409	17.3	25.7
合計	9,094	10,770	1,675	18.4	100.0

単位：百万円、%

	15/11	構成比	16/11			
			増減	同率	構成比	
陸用	2,255	24.8	2,907	651	28.9	27.0
船用	6,839	75.2	7,863	1,024	15.0	73.0
合計	9,094	100.0	10,770	1,675	18.4	100.0

■前年に比べ、船用関連が順調で、バタフライ弁が前年同期比55.2%、遠隔操作装置が同17.3%とそれぞれ増加し、全体では同18.4%の増加となった。

■陸用は前期に比べ、651百万円(前年同期比28.9%増)、船用も1,024百万円(同15.0%増)と共に増加し、全体では1,675百万円(同18.4%増)増加となった。



4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	15/11	16/11	16/11		
			増減	同率	構成比
国内	7,442	8,587	1,144	15.4	79.7
韓国	508	543	35	6.9	5.1
中国(香港)	858	1,456	598	69.8	13.5
その他	285	182	▲102	▲36.0	1.7
合計	9,094	10,770	1,675	18.4	100.0
輸出比率	18.2	20.3	2.1		

- 中国向けの船用関連が好調で、前年同期比69.8%と大幅に増加した。国内向けは船用、陸用共に前年を上回り、同15.4%の増加となった。
- 輸出比率は20.3%で同2.1%の増加となった。



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	15/11		16/11			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	9,094	100.0	10,770	1,675	18.4	100.0
売上原価	7,713	84.8	8,996	1,282	16.6	83.5
売上総利益	1,381	15.2	1,774	392	28.4	16.5
販売費・一般管理費	871	9.6	976	104	12.0	9.1
営業利益	509	5.6	797	288	56.6	7.4
営業外損益	101	1.1	87	▲14	▲14.0	0.8
経常利益	610	6.7	885	274	44.9	8.2
特別損益	-	-	-	-	-	-
税引前中間純利益	610	6.7	885	274	44.9	8.2
法人税等	217	2.4	291	73	33.9	2.7
中間純利益	393	4.3	593	200	50.9	5.5

- 売上高は、船用、陸用共に前年を上回り、対前年同期比18.4%の増加。
- 利益面では、船用関連で、一部の船種の収益が好調で他の落ち込みをカバーし、また、メンテナンス関連の収益も順調に推移し、営業利益は対前年同期比56.6%、経常利益は同44.9%、中間純利益は同50.9%の大幅な増加となった。



6. 貸借対照表

単位: 百万円

	16/5	16/11	増減		主要増減要因
流動資産合計	20,866	19,956	▲909		
現金・預金	5,810	6,076	266		
売上債権	8,132	8,450	317		
棚卸資産	4,172	4,285	112		
その他	2,750	1,143	▲1,606		短期運用 ▲1,508
固定資産合計	5,780	6,770	989		
有形固定資産	3,184	3,101	▲83		減価償却 131 投資 47
無形固定資産	16	16	0		
投資その他の資産	2,578	3,652	1,073		長期運用 997
資産合計	26,646	26,726	79		
流動負債合計	4,949	4,526	▲422		
支払手形・電子記録債務・買掛金	3,819	3,447	▲371		
その他	1,129	1,078	▲51		
固定負債合計	2,122	2,163	40		
負債合計	7,072	6,690	▲382		
純資産合計	19,574	20,036	461		
負債・純資産合計	26,646	26,726	79		



Ⅲ. 平成29年5月期見通し



1. 概要

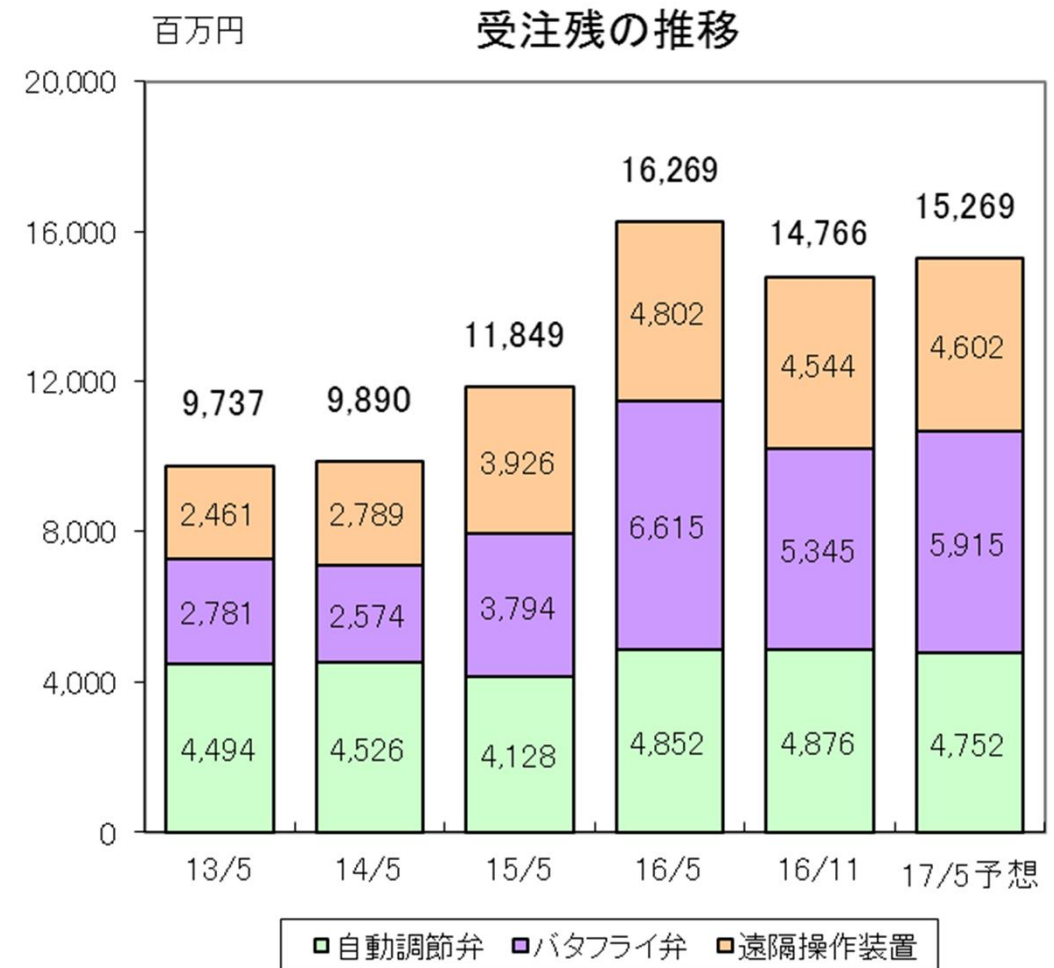
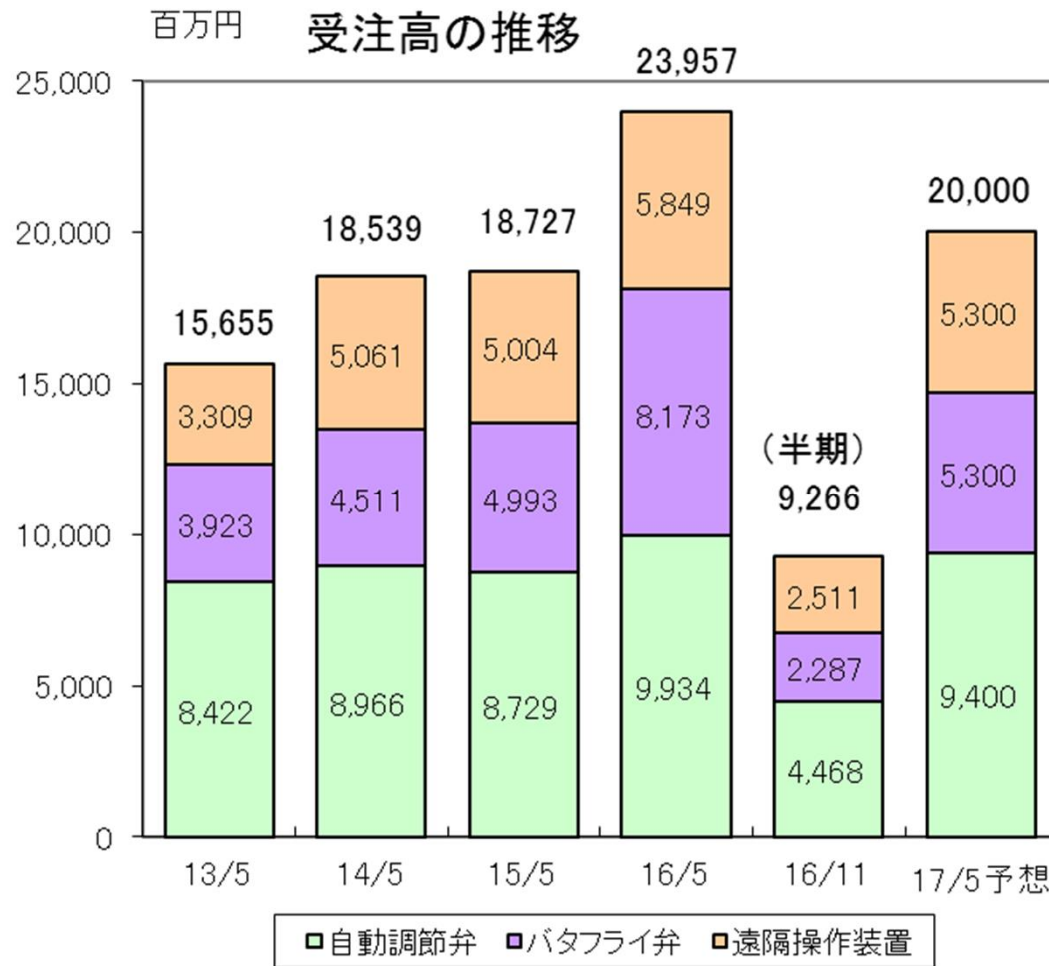
見込み

単位：百万円、%、円

	16/5	17/5	前年同期比		期初計画
			増減	同率	
売上高	19,536	21,000	1,463	7.5	20,000
営業利益	1,121	1,500	378	33.8	1,000
経常利益	1,274	1,670	395	31.0	1,120
当期純利益	846	1,120	273	32.3	770
一株当たり利益	45.17	60.74			41.76
一株当たり配当金	20.00	20.00			20.00

- 売上高は、前期を若干上回る計画。
- 利益については、船用関連が当初想定より落ち込まず、上方修正。

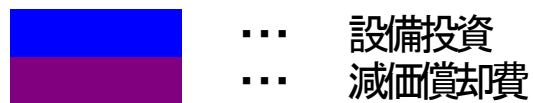
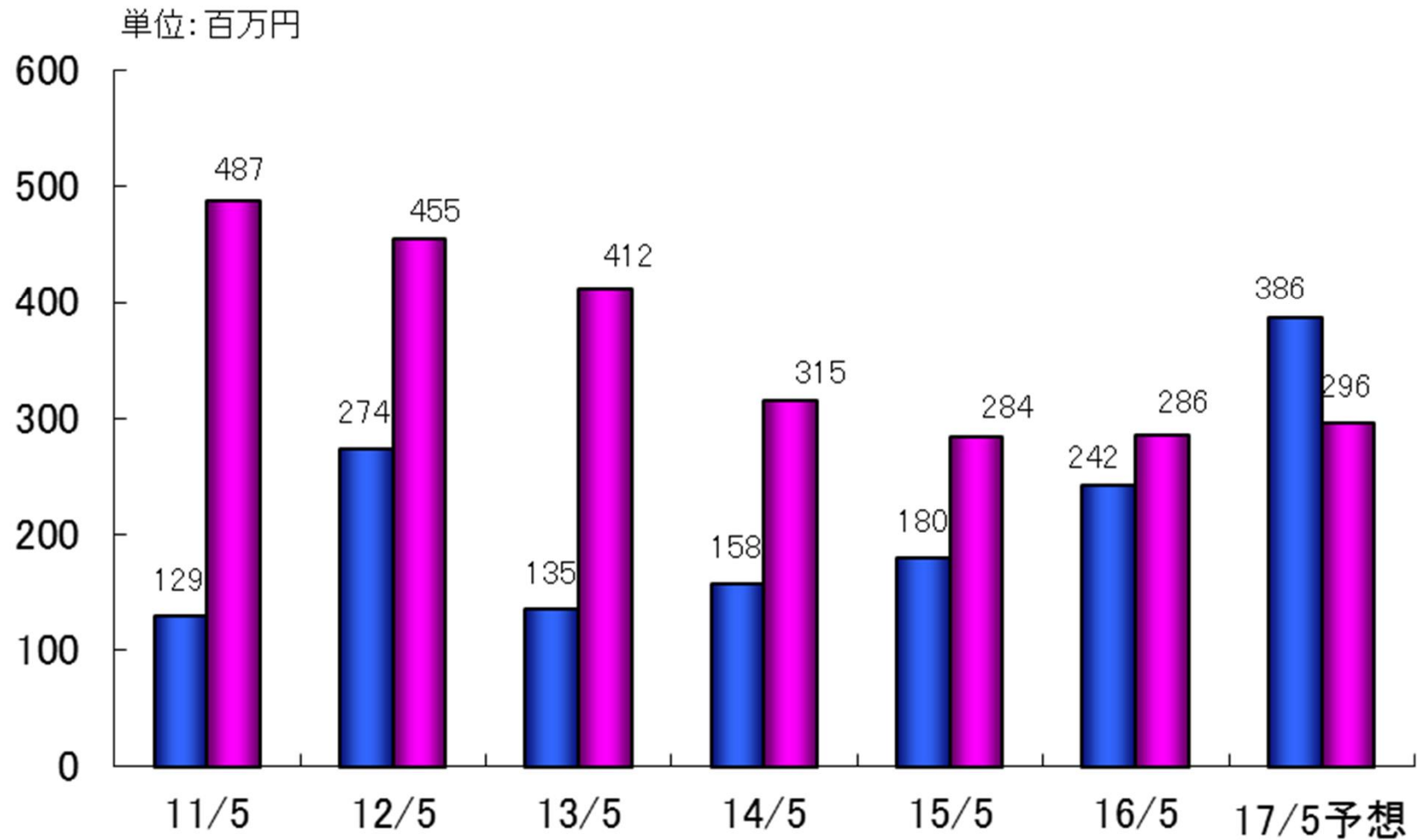
2. 受注・受注残の見通し



■ 新造船市況が低調で、船用関連の受注環境は厳しい状況にあるが、より一層の営業活動に注力し、受注高200億を目指す。



3. 設備投資と減価償却費の見通し





IV. 今後の展望

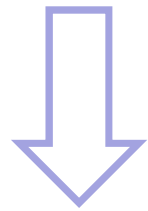
1. トピックス

・個別受注生産を支える品質の確保(1/2)

(中北製作所の特徴)

①グローバルな規格への対応
(JIS,ASME,ANSI,IEC 他)

②多様な顧客要望への対応



機能、性能、品質の高い要求に応えている。



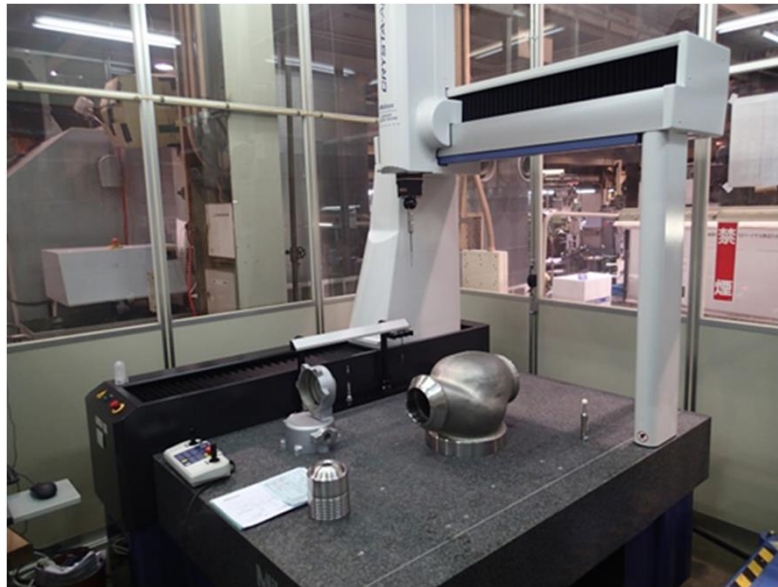
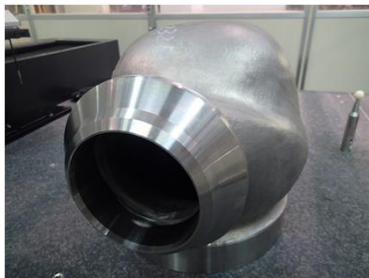
1. トピックス(つづき)

・個別受注生産を支える品質の確保(2/2)

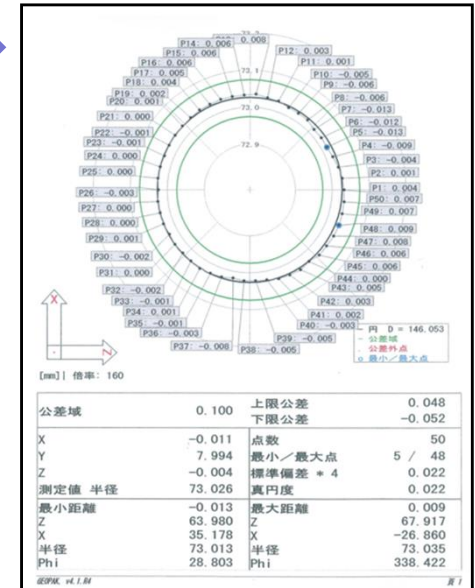
幾何公差を管理するための **三次元測定機** を高性能な後継機にリプレイス

過酷な圧力・温度条件に対する製品の設計・製造が可能となり、
多様な顧客の要望・仕様 に応えて
様々な規格への対応 もおこなっている。

・幾何公差・・・形状を制御するもの(例:平面度、真円度、直角度等)



真円度の測定





2. 中長期的な経営戦略～

【当社の企業価値】

1. 熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理能力
2. 長年にわたる顧客との強固な関係
3. 創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

企業価値確保・向上への取組み

生産性向上活動

- ・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

原価低減活動

- ・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取組み
- ・不適合・ムダの排除による原価低減

開発提案型の営業活動

- ・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

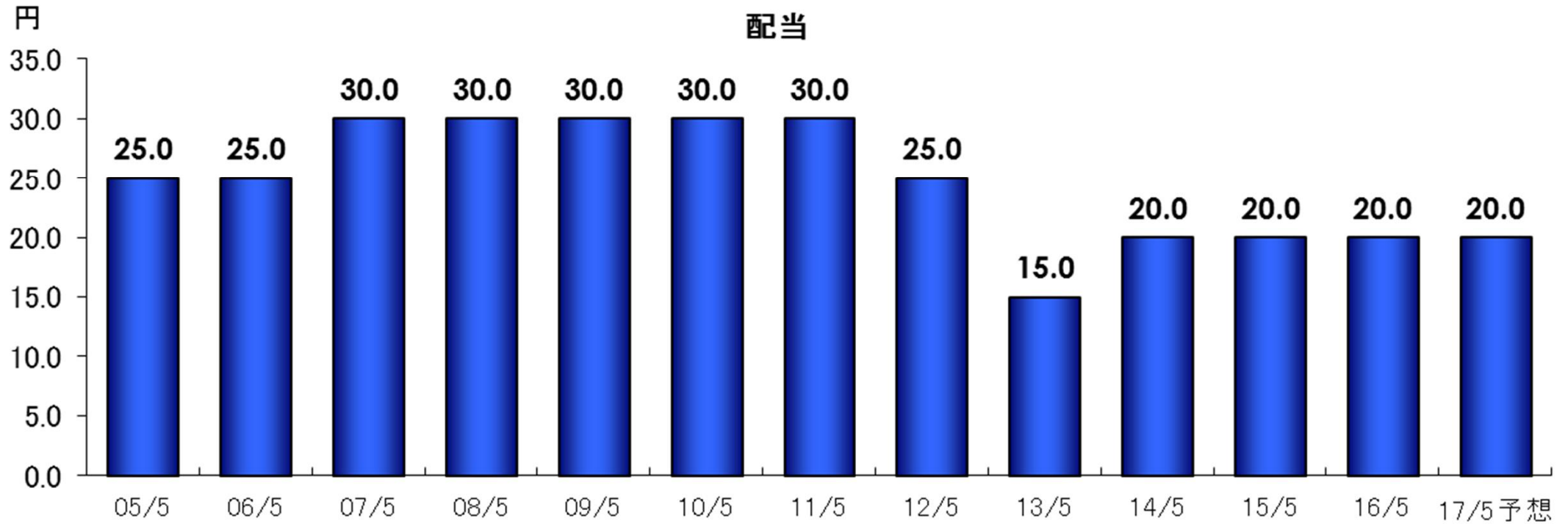
人材育成

- ・技能レベルアップと技能伝承

信頼されるものづくり企業としての勝残り

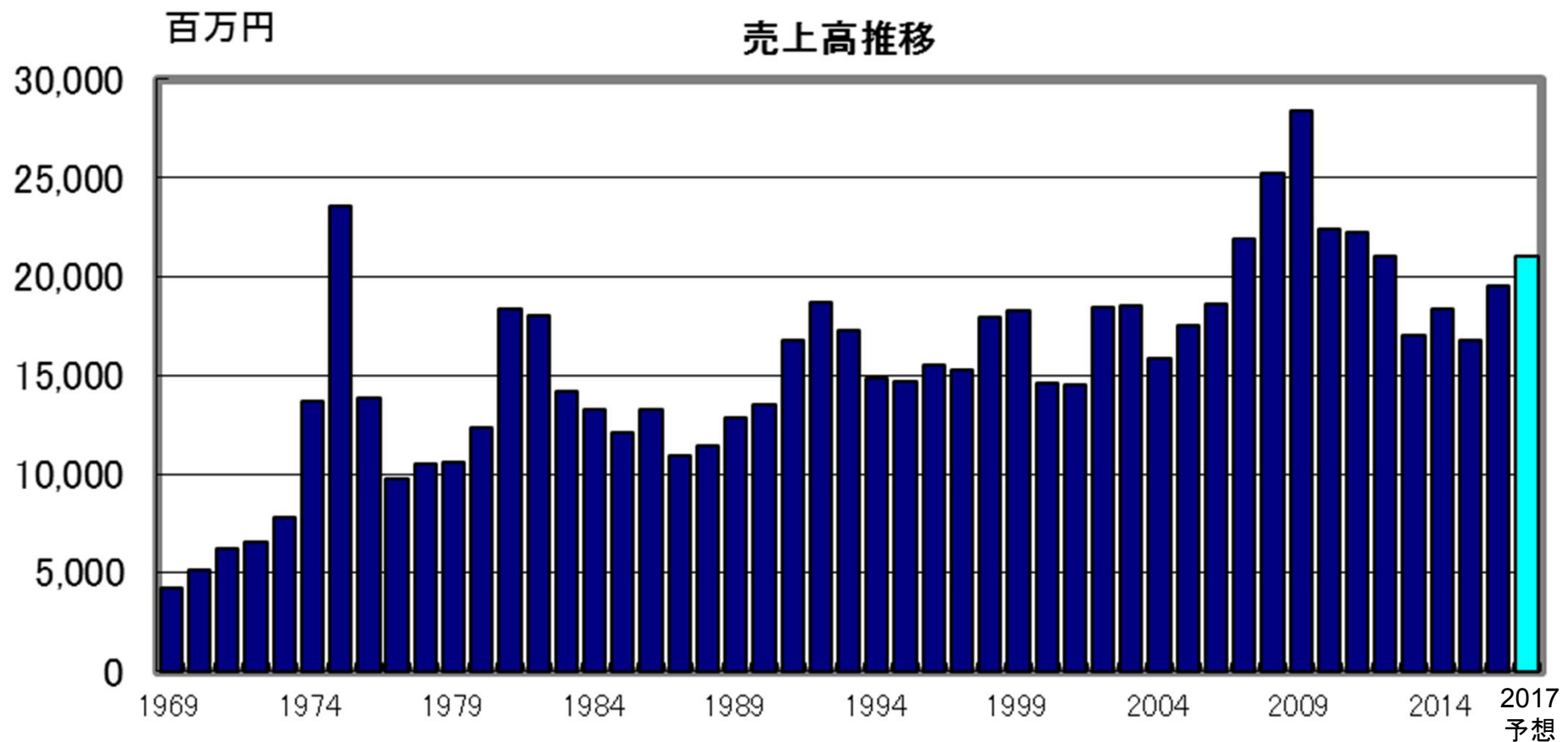


3.配当実績・予想



4. まとめ

■新造船市況が低調で、新規制の対応、原油価格・為替の動向等、先行き不透明な状況で受注環境は厳しい状況にあります。このような環境のなか、一層の営業努力と更なる生産性向上活動により、計画の達成を目指してまいります。





V. コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
売上高	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	21,000
営業利益	1,753	588	1,349	780	1,121	1,500
営業利益率	8.4	3.5	7.3	4.7	5.7	7.1
経常利益	1,902	771	1,528	963	1,274	1,670
経常利益率	9.1	4.5	8.3	5.7	6.5	8.0
当期利益	1,042	468	917	595	846	1,120
当期利益率	5.0	2.8	5.0	3.6	4.3	5.3
総資産	24,791	23,828	25,298	25,346	26,646	
株主資本	18,420	18,456	18,976	19,024	19,241	
株主資本比率	74.3	77.5	75.0	75.1	72.2	
株主資本利益率	5.7	2.5	4.8	3.1	4.4	
1株当たり利益	54.5	24.4	48.3	31.5	45.2	60.7
1株当たり配当金	25.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0



単位:百万円

陸船別売上	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
陸用売上	5,492	5,992	5,905	5,542	4,893	5,500
船用売上	15,480	11,019	12,481	11,225	14,643	15,500
合計	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	21,000

品種別売上	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	7,697	8,863	8,935	9,126	9,211	9,500
バタフライ弁	7,214	4,593	4,718	3,773	5,352	6,000
遠隔操作装置	6,061	3,555	4,733	3,868	4,973	5,500
合計	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	21,000

生産	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	7,738	8,700	8,792	9,061	9,176	9,500
バタフライ弁	7,241	4,514	4,642	3,746	5,332	6,000
遠隔操作装置	6,086	3,487	4,657	3,840	4,954	5,500
合計	21,066	16,702	18,092	16,648	19,463	21,000

受注	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	8,689	8,422	8,966	8,729	9,934	9,400
バタフライ弁	4,634	3,923	4,511	4,993	8,173	5,300
遠隔操作装置	4,191	3,309	5,061	5,004	5,849	5,300
合計	17,515	15,655	18,539	18,727	23,957	20,000

受注残	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	4,935	4,494	4,526	4,128	4,852	4,752
バタフライ弁	3,450	2,781	2,574	3,794	6,615	5,915
遠隔操作装置	2,707	2,461	2,789	3,926	4,802	4,602
合計	11,093	9,737	9,890	11,849	16,269	15,269

・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。